

好きに勝るものなし



皆さんは、何が得意ですか？自分のことですが、意外とこの問いに答えるのは難しいですよ？でも、明確に答えることができなくてもよいと思います。大切なことは、荒工で探してみることなので。仮に荒工での生活でこれというものが見つからなかったとしても、探し続けた時間は必ず皆さんを得意

なもの、好きなことに近づけてくれます。

先週、土曜日の午前中にサッカー部の工業大会、午後はAI部と3DCGと3Dプリンターの放課後コンテンツに参加しました。そこには一生懸命に挑戦している荒工生の姿がありました。スポーツもプログラミングも練習してきたことしか表現できません。どれだけ練習で吸収できるかは、学ぶ「姿勢」により変わります。そして、「姿勢」は好きかどうかによりますね。



サッカー部は勝つために顧問やコーチの指示をよく聞いて戦っていました。後半は荒工の時間でした。AI部、放課後コンテンツでは、顧問や担当の先生方だけでなく、株式会社Freeeや日本電子専門学校技術者が活動を支援してくれていました。参加生徒は、プロから学べる時間に休憩時間も忘れ、作りたいものの実現に向けて挑戦していました。やりたいことに没頭できる環境が荒工にはあります。恥ずかしがらずに学びに参加することが一歩目ですね。

作りたいものの実現に向けて挑戦していました。やりたいことに没頭できる環境が荒工にはあります。恥ずかしがらずに学びに参加することが一歩目ですね。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】ドローンをプログラミングで制御しようとしている電子科の生徒。課題研究でロボット制御に挑戦し、ドローンをコントロール。ドローンを制御するという事は、空の視点を持つということですね。制御方法を説明してくれる生徒に「楽しそうだね」と聞くと、力強く「楽しいですね」と答えてくれました。新しいものに触れることは大切です。触れると自然と「仕組みはどうなっているのかな」と考え始めます。仕組みが分かってくると楽しくなります。意外と「楽しい」「得意」は簡単に見つかるかもしれません。新しい「もの」「仕組み」に興味をもちチャレンジですね。



【定時】教科書でしっかりと学びを進める。基本的なことですが難しいのが実際です。授業では、教科書を分かりやすく説明するために補助プリントを作成し、学びの焦点化してくれることが多いですよ。ひらがな、カタカナ、漢字、数字、



外国語の沢山の言葉で作られている教科書を理解するのは本当に難しいですよ。そんな中、教科書を「読み」問いに向けて「探求」させようとする渡邊先生。難しいことでも積み重ねることが大切だと感じさせてくれます。さすが！4年生、次々に答えが出てきていました。

「未来を創る！彩る！荒川工業」